

ネットで正しい健康情報を

厚生労働省が民間業者に委託して行った「健康意識に関する調査」によれば、健康に関する情報源の接触度について「いつも接している」との回答が最も多かったのは「インターネット」32・5%であり、次いで「テレビ・ラジオ」31・9%、「新聞」23・7%となっていました。

一方、信用度についてみると、「非常に信用している」との回答が最も多かったのは「かかりつけの医師」20・4%であり、次いで「大学や病院、診療所」12・2%で、「インターネット」は2・5%しかありませんでした。インターネットで得られる情報は、年々、飛躍的に増大しています。しかしながら、その情報は玉石混交で、信頼度

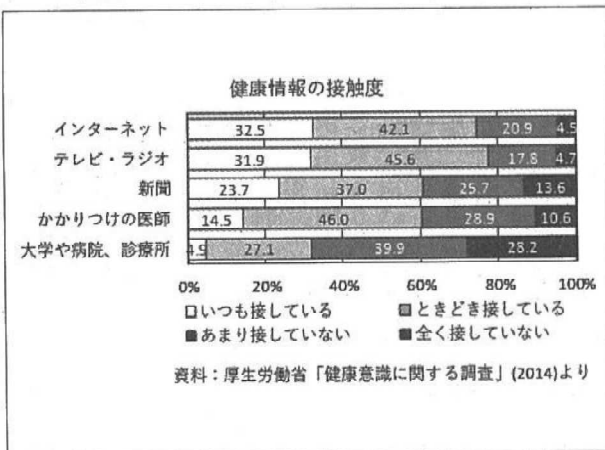


<25>

埼玉県立大学教授 延原 弘章

の高い情報もありますが、全く信頼できない情報あるいはウソの情報も少なくありません。厚生労働省の調査結果からは、多くの人がインターネットから手軽に健康情報を得つつも、あまり信頼はしていない様子がうかがえます。

今やインターネットによる情報発信は誰にでも可能です。そのため、様々な個人、団体が健康情報を流しています



「がん研」などの情報サービスも

が、このような情報の中には広告によってお金儲けをしているサイトもあります。アフィリエイトと言って、記事の中に表示される広告からサイトの訪問者が商品を購入することによって報酬を得るものです。医薬品は規制がありますので、健康食品や美容関連のものが多くなりますが、当然のことながら商品購入に誘導するような記事になります。

このようなサイトは、インターネット検索で上位に表示されるような工夫を凝らしていました。近年はインターネット検索の大手企業が検索アルゴリズムの見直しを定期的に行うようになり、公的機関などによる信頼度の高い情報が上位に表示されるようになりつつあります。

一方、インターネット上には専門家による信頼度の高い情報も少なくありません。たとえば、国立がん研究センターでは一般の方に向けた、がん情報サービスを提供しています。インターネットを上手に利用して、正しい健康情報を獲得しましょう。